

平成 26 年度 一般社団法人室内環境学会第 1 回臨時理事会議事録

日 時：平成 26 年 3 月 4 日（火）17:00～18:45

場 所：(株) アイデック 7 階会議室

出席者

理事：中井里史（代表理事）、東 賢一、山口 一、柳沢幸雄、神野透人、水越厚史、野口美由貴

オブザーバー：佐藤 博（H25 年学術大会長）、柳 宇（平成 26 年学術大会長）

監事：斎藤育江

事務局：中島大介（事務局長）、松木秀明（会計）、橋本一浩、色摩 操

欠席理事

関根嘉香

本理事会は総理事数 8 名のうち過半数である 7 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は中井理事長が務めた。

議事次第：

1. まず、平成 26 年度第 1 回通常理事会議事録（案）の確認が行われた。
2. 委員会等活動報告
各委員会等の活動が報告された。具体的には以下の通り。
 - ・出版委員会：新規委員の紹介、17 巻 1 号の編集状況。
 - ・学術委員会：助成制度の応募状況、基金募集周知依頼、化学物質及び微生物に関する各論出版企画状況等。特に各論は両者ともに目次が揃い、電大出版との調整を開始。
 - ・九州支部：第 7 回研究発表会（H25.1.24 開催）の報告。
 - ・広報委員会：HP 更新情報、メーリングリストの件数制限オーバーを受けて別サービス検討の件、助成金 HP 作成検討、アクセス解析の予定等。
 - ・予算健全化 WG：2 回の会合開催及び検討状況報告。特に各種広告媒体の金額、非会員の大会参加費の見直し、経費節減提言等。年内に一定の成果を報告する。
3. 平成 26 年度委員会等活動費
事務局より各委員会等の金額確定及び振込額の確定の報告があり、併せて残金の返金について案内があった。
4. 平成 25 年学術大会大会長奨励賞等報告
佐藤平成 25 年大会長より、大会長奨励賞等の報告があった。大会長奨励賞（口頭発表）は梶原夏子ら「ハウスダスト粒径別の臭素系難燃剤の蓄積特性」と境志保ら「脂肪酸塩によるカビ汚染の制御」の 2 件、優秀ポスター賞は既に発表した通り池田絢子ら「高校生の学校生活における室内空气中アルデヒド類への曝露に関する研究～住宅、学校施設および通学環境を対象として～」と神野透人ら「柔軟剤中の香料による気道刺激に関する研究」に決定した旨報告された。
5. 平成 25 年学術大会収支決算
佐藤平成 25 年大会長より、収支決算が報告された。黒字を確保できた要因として、協賛金を 7 社から得たこと、佐世保市からの助成金、大学からの助成金が挙げられた。一方、要旨集のカラー印刷は費用が広告収入より高かったとの反省があった。
6. 平成 26 年学術大会準備状況
柳平成 26 年大会長より準備状況が報告された。会期は平成 26 年 12 月 4-5 日前後、メインテーマは「室内環境の未来をみすえて」。会場は工学院大学、共催とする。後援を広く依頼する。市民公開講座は開催しない。シンポジウムテーマ、人生は 6 月中旬を目処に決定予定。展示・広告費用の見直しを検討中。また非会員の参加費を見直す。寄付金も受け付ける。演題は 100 件を目標とする。その他、会場の紹介

があった。大会ホームページの設置について相談があり、関係者で確認することとした。

7. 新規入会希望者の承認

事務局より平成 25 年 11 月から平成 26 年 2 月の入会希望者 10 名（正会員 7 名、学生会員 3 名）のリストが提出され、全員の入会が承認された。

8. 選挙管理委員長の選出

室内環境学会一般規則第 5 条 2 項に基づき、理事長候補および監事候補選出のための選挙管理委員長に小野雅司正会員を選出した。また同時に選挙管理委員会を設置した。

9. その他

- ・調査研究助成基金について募集中との報告があった。
- ・2014 TSIEQ Conference への派遣者として、熊谷一清正会員に依頼することにした。
- ・JASIS への展示の案内があるが、本会としては講演会のみとして展示は見送ることとした。
- ・会員動向報告があり、微増とのことだった。会費滞納者への声掛けができるよう、滞納者リストを理事会に提出することとした。
- ・広告代理店から学会誌への広告掲載に関する問い合わせがあった旨報告があった。
- ・次回以降の学術大会会場として、沖縄の 4 会場を視察した旨報告があった。
- ・社会連携委員会から学会のチラシを作成したいとの提案があり、今年度或いは日程によっては昨年度ポスターを参考に準備することとした。
- ・学術大会において、登壇者が非会員と表記されている（実際には大会当日までにいずれも会員登録されていた）発表が 10 件あった件について、理事長から誤解を招くことのないよう、今後は留意すべしとの指示があった。また、お詫び文を大会長名で学会誌及びニューズレターに掲載することとした。
- ・次回は 5 月または 6 月に臨時理事会を予定。

以 上